

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	通信会社（営業担当）	・オリンピックを間近に控え、地上デジタル放送の認知度もかなり向上するため、デジタル対応テレビやDVDの売行きが上がると見込んでいる。
	やや良くなる	百貨店（営業担当）	・客の買い方は非常に慎重であるが、欲しい物にはお金を出す傾向になっているので、品ぞろえによっては売上が伸びると見込んでいる。
		コンビニ（店長）	・4、5月に大きな祭りがあるため、前年比での売上は大幅に伸びる。祭りやゴールデンウィーク、夏にあわせて売場を変更していくが、手ごたえを感じている。
		家電量販店（店長）	・4月から総額表示となるが、客が値ごろ感を感じれば買いに入るので、やや良くなる。
		住関連専門店（店長）	・店舗の全面改装により、来客数の増加が見込まれる。
		一般レストラン（経営者）	・依然として法人企業等の消費は回復せず、好転するほどは期待できないが、来客の動きは良くなってきている。
		スナック（経営者）	・地価が下がり、賃料が安くなったためか、商店街に新規出店が相次ぎ、空き店舗が減少傾向にある。また、市街地に分譲マンションが建ち、中心市街地の人口が増加してきているような流れもあり、良い方向に向かっている。
		旅行代理店（営業担当）	・来客数がこのまま推移して、販売量が若干でも伸びていけば、一般的な回復につながる。
		通信会社（社員）	・携帯電話市場の成熟化に伴い、これまでのような右肩上がりの伸びは期待できないが、第三世代携帯電話への移行が増えてくると市場を活性化させる要因となる。
		住宅販売会社（経営者）	・具体的にプラン、見積りと話が進んでいく客の数が増えてきている。現場、モデルハウスの来場者数も増加している。
		変わらない	商店街（代表者）
	一般小売店〔精肉〕（経営者）		・年度の節目で老舗の店が廃業している。周辺地域の建築関係が良くならない限りは厳しい。業界の中では、外国で鳥インフルエンザが再発したという話が響いている。
	百貨店（売場主任）		・4月から税込み表示が義務付けられ、客の価格に対する印象がどうなるか懸念している。ブランドもそろい、品ぞろえは充分である。
	百貨店（店長）		・3月の売上は前年をクリアできると見込んでいるが、安定的な売上増への兆しはまだみられない。
	スーパー（経営者）		・酒類の自由化に伴い、競合店の売場にも酒が置かれてきている。今後は競争の激化が進み、利益高が低下する。
	スーパー（総務担当）		・食品は、今後2～3か月はかなり期待できる。衣料品については天候不順などで苦戦する見込みであるが、相対的に食品のウエイトが高いため、全体では若干上向く。
	スーパー（統括）		・4月1日の総額表示スタートに伴い、値ごろ感を失うことによる買い控えが懸念される。商品によっては値ごろ感を追求するために、かなりの値下げを覚悟せねばならず、今後の利益確保に大きく影響が出てくる。全体としては上昇傾向にあるが、消費者マインドは中元時期の6月中旬まで冷え込む見込みである。
	乗用車販売店（販売担当）		・毎月展示会を行っているが、徐々に販売量が減少している。以前は、2、3月はかなり良かったが、今年は前年比でも悪く、このままだと販売量の増加は見込めない。
	乗用車販売店（販売担当）		・例年、4～6月は新社会人などの需要で販売量が伸びる。ただし、地元銀行破たんによる雇用問題や、ゴールデンウィークに周辺のホテル等がどの程度埋まるかということもあり、あまり上向きにはならない。
	都市型ホテル（スタッフ）		・第一四半期は前年並みの客数を確保できたが、第二四半期の予約状況は、これからの営業努力によるが、現時点で前年より1,500～2,000名少ない。
旅行代理店（経営者）	・熟年層の旅行は動き始めて上昇傾向にあるものの、ビジネスや家族向けの旅行需要が低迷しており、総じて回復傾向にあるとはいえない状況である。全体には現状維持で変わらない。		

		旅行代理店（経営者）	・一部に史上最高の利益を上げているという企業がある一方で、地方のほとんどの会社は非常に悪く、負け組となっている。特に、当地域は公共事業が大幅に削減され、経済が疲弊している。若い人、中高年とも就職できず、非常に厳しい状況である。
		タクシー運転手	・タクシー観光が激減しており、行楽シーズンも苦戦が予想される。また、梅雨時、特に、昼間のタクシー需要は天候に左右される。
		観光名所（職員）	・7年に一度の祭りがあり、PR効果もあって、客の出足は例年を大幅に上回るが、売上は不透明である。
		ゴルフ場（支配人）	・現時点でゴールデンウィークの予約は前年並みであるが、連日休日であるため、家族ぐるみで他のレジャーへ流れることも予想される。他ゴルフ場とともに、来場者確保のため、値引料金での集客に動いている。
		その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・近隣の町工場では、大手運送会社に運搬を依頼し、運転手を減らし、今までの半分程度の貨物車しか置かないようにしている。ライトバンや中古貨物車は極端に減少している。
		設計事務所（所長）	・仕事は安定しているが、価格の低下が売上に大きく影響している。受注件数の増加に力を入れていく。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・消費税の総額表示により、4月以降消費者には5%値段が高くなったように感じられる。内税表示でかっこ内に税金を書くのが望ましいのではないかと、など商店街としてもいろいろ検討している。
		スーパー（経営者）	・消費税の総額表示に伴い、客に高くなったというイメージを与えると懸念している。
		コンビニ（店長）	・4月から消費税の総額表示方式が始まるので、客の買上にマイナス要因として働くのではないかと懸念している。
		その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・3月は新規購入、機種変更需要のピークであり、それを過ぎると需要は急激に減る。落ち込みを食い止めるため、その時期に合わせて新商品の発売や割引キャンペーンを実施する。
		一般レストラン（業務担当）	・年度替わりの関連で、例年4～5月は周辺の各種団体が総会、懇親会を開く。前年並みの予約件数が入っているものの、客数、宴会単価はいずれも前年比2割減となっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・4月からの総額表示で、現在の単価に税金を含めざるを得ない組も多数発生すると見込んでいる。婚礼シーズンに入るが、予約状況があまり良くない。
		美容室（経営者）	・少子化で入学する子供が減ると、それに伴い髪をセットする父兄も少なくなる。例年と比べ、今年は更に売上が減少する。
		住宅販売会社（経営者）	・不動産の流通が良くなり地価が上昇する傾向があれば良くなるが、現在その兆候もないので、悪くなる一方である。
	悪くなる	スーパー（経営企画担当）	・消費税の総額表示を先行して実施したスーパーのほとんどが売上を大きく落としている。4月1日以降当店も総額表示に移行するが、買い控えが起きるのではないかと懸念している。5月には競合店が開店するので、先の見通しは非常に悪い。
		コンビニ（店長）	・50メートルくらい先にあるドラッグストアがアルコールの販売を始めたことにより、今後は悪くなる。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（営業統括）	・行政の観光推進の後押しもあり、工場見学者の増加が見込まれ、若干景気は回復する。
		金属製品製造業（経営者）	・受注は、自動車を中心としてデジタル機器やデジタル家電等の大手向けが約65%、中小の設備投資向けが2割くらいである。従来の外需関係も多くなってきているようである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・県内の大手企業が2工場で大規模な設備投資を行うという記事が出ており、良い業種もでてきていることとあわせ、2～3か月先は現在よりは良くなる。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・4～6月の3か月インフォメーションを平均すると、対前年比約10%弱の増加を示している。2～6月は対前年比で良くなる見込みであることから、景気は良くなりつつある。
		金融業（経営企画担当）	・現在は大企業の下請を行っている地元中堅企業の経営者の心理が徐々に積極的な方向に向かいつつある。設備投資、雇用などが好転し、業況が堅調に推移している。この動きが今後、中小零細企業にも波及するので、やや良くなる。

	新聞販売店 [広告] (総務担当)	・大手代理店の話でも、チラシの出稿量は確実に増加しており、サイズの大型化、範囲が広がる傾向が戻りつつあるということである。前年は全くなかった出店計画もあり、明るい材料といえる。	
変わらない	食料品製造業 (製造担当)	・税込み価格の一本化で、レジ対応が遅れ、3週間ほど特売できる商品に限られる。4月からはようやく通常の状態に戻るが、混乱は避けられない。伝票や記入方法が複雑になり、その作業が大変である。	
	一般機械器具製造業 (経営者)	・2月より、自動車関連部品、建設機械関連部品が増加しており、今後当分は横ばいの状態が続く。	
	一般機械器具製造業 (生産管理担当)	・取引先各社の生産動向説明会が開催されているが、来期に入っても好調維持を見込んでいる取引先がほとんどであり、今まで動きが途絶えていた仕事の注文も入ってきている。	
	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	・宝飾の卸の展示会はどこも来場客の減少、売上ダウンが続いており、良くなるにはまだ多少時間がかかる。	
	建設業 (経営者)	・受注も増加せず、資材の値上がりの影響が大きく、採算の悪化が厳しい。	
	不動産業 (管理担当)	・地下のテナントに入っている飲食店の話では、客足はそれほど悪くならないと見込んでいるようだが、消費税の税込み表示により、表示価格は上げざるを得ないので、客にどう影響が出るのか懸念している。	
	広告代理店 (営業担当)	・内税表示対策があるが、レジャーシーズンに向けた販促計画が活発な分、大きな落ち込みはないと見込んでいる。ほんのわずかではあるが、企業の販促担当レベルでは景気回復感が感じられる。	
やや悪くなる	化学工業 (総務担当)	・ユーザーへの売込み競争が激化している。新年度の大幅値下げ協力も決定となっており、今後はやや悪くなる。	
	窯業・土石製品製造業 (総務担当)	・地元銀行が破たんして4か月経つが、この3月をめどに融資先をふるいにかけるとのことで、今までの温情は通用しないといわれている。今期、赤字決算を避けるべく、最大の努力をしているが、地元経済はお先真っ暗である。	
	電気機械器具製造業 (経営者)	・材料費が上がり、製品に転嫁できないので、今後の開発にもかなり影響が出てくる。新規の開発、又は製品を、合わないからやめてしまおう、という話が出てきているので、かなり厳しい状況となる。	
	その他サービス業 [放送] (営業担当)	・企業が経費の節減と広告の効果を上げるため、広告費を本社に集中する傾向が強い。このため、地方でのコマース受注は一段と厳しくなっている。4月からの年間契約分の受注は、官公庁、民間企業とも7%程度落ち込む見通しである。	
悪くなる	建設業 (総務担当)	・2月に引き続き受注活動に力を注いだが、2月末受注残が、前年比で53%と大幅に減少している。	
雇用 関連	良くなる	-	
	やや良くなる	人材派遣会社 (経営者)	・今後3か月は購買力が若干伸びるという期待からか、荷動きが出てきている。生活雑貨から、新生活対応の商品、これに付帯する電子関連の生産も動きが出ている。
		人材派遣会社 (営業担当)	・IT関連の製造業の求人件数が活発であるが、この分野は波があり、繁忙サイクルが半年から数か月周期であるため、今の状況がどこまで続くかがポイントである。また、企業側が派遣導入に際し、複数の派遣会社に打診するケースが多く、競争が増えている。登録スタッフの希望する職種と求人内容のミスマッチも依然として多く、好況が空回りというところである。
		職業安定所 (職員)	・有効求職は前年同月比15か月連続の減少、有効求人は前年同月比17か月連続の増加となっている。求人は請負などが中心ではあるが、新規の求人やしばらくぶりの求人予定企業も増加している。
		職業安定所 (職員)	・製造現場への派遣解禁の影響が考えられる。また、IT関連の海外工場が県内に戻り、再稼動するというような動きがある。
変わらない	人材派遣会社 (社員)	・以前は解約の話が連続していたが、このところは若干の解約はあるものの、新規の受注が増えてきている。ただし、このような状況下での新規受注であるため、あまり良い条件ではないが、中にはそれなりの好条件も出てきている。	
	求人情報誌製作会社 (経営者)	・この数か月の売上は前年比での伸びがあまりなく、横ばいであり、今後も横ばいのまま推移する見込みである。	

	民間職業紹介機関（経営者）	・近い将来への不安から、個人消費が伸びず、全体として持ち直す傾向が足踏みしている。製造業の優等生だったデジタルカメラ関係は、大手企業が縮小傾向にあり、設備関連投資の見直しを始めている。
	学校 [短期大学]（就職担当）	・3月は卒業予定者対象の合同説明会が3回あり、参加企業は約140社と前年並みである。特に、製造業、情報関連や、サービス業の参加が多く、職種も専門技術者、営業職、サービス職が目立っている。
やや悪くなる	新聞社 [求人広告]（担当者）	・4月からの消費税総額表示で、便乗値上げが懸念される。また、税込み表示で値段が高く感じられるため、一時的に消費が落ち込む。
悪くなる	-	-